

日野中だより19号 発行：令和4年1月31日(月) 文責：佐世保市立日野中学校 校長 池田 美祐紀	校訓 愛 学校教育目標 心豊かで活力に満ちた生徒の育成 学びあい 認めあい 支えあい
--	---

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらをご覧ください。

— 五観の偈(ごかんのげ) —



私たちは、食事の前に「いただきます。」とあいさつをしますが、禅僧の修行の中でも食事は大切な修行の一つで、いくつもの食事作法や食事の前に唱える文言が数多くあるそうです。修行を始めたばかりの修行僧は、「もたもたしている間に食事が終わってしまうことも少なくありません。」と言われるほどです。その食事作法の中に、食事をするうえでの5つの心構えが書かれた「五観の偈」(ごかんのげ)という大切な文言があります。修行をされている僧侶の方だけでなく、私たちにとっても大切なことなので、少し紹介します。

1 つ目は、「この食事が調えられるまでにかかった、たくさんの人たちの働きに感謝しましょう」という意味です。どの食べ物も、口に入るまでに多くの人の手がかかっているものです。そのすべての人に感謝していただくように、ということです。

2 つ目は、「命をいただく」うえでの感謝と反省の心をうながすものです。食材はすべて命であり、その命をいただくにふさわしい行いができているか振り返りましょうというメッセージが書かれています。

毎日、他の生き物の命をいただいて当たり前のように食事をしている私たちですが、この「給食週間」の時期に、このようなことにも思いを馳せてみたいと思います。



給食専門委員会からのメッセージ(1月28日(金)放送より)

給食週間の取組として、先週一週間、給食の時間に給食専門委員会から給食に関するメッセージが放送されました。27日(金)の放送を紹介します。

2年3組 莊司さん 田崎さん

長崎県は、たくさん魚がとれる県で有名です。でも、世界全体でみると、魚がとれにくくなっています。その理由は、自分たち人間がごみをたくさん出して、魚の生きる環境を汚しているからです。例えば、工場や家庭からの排水やゴミなどの廃棄物、特にプラスチックごみで海が汚染されています。プラスチックが溶けるまで、すごく時間がかかります。だから、ビニール袋などをクラゲなどとまちがえてカメが食べて死んだりしています。



日本は魚の消費量が世界第2位です。でも、海を汚してしまうと、魚がいなくなってしまうかもしれません。海を汚さないようにするためにぼくたちができることは、ポイ捨てをしないことや給食を残さず食べたりすることです。



ぼくたちが生きるための食べ物が無くなってしまわないように、給食の食べ残しを減らしたりして、地球が平和に暮らしやすくなるように、身近なことで地球を守っていきましょう。

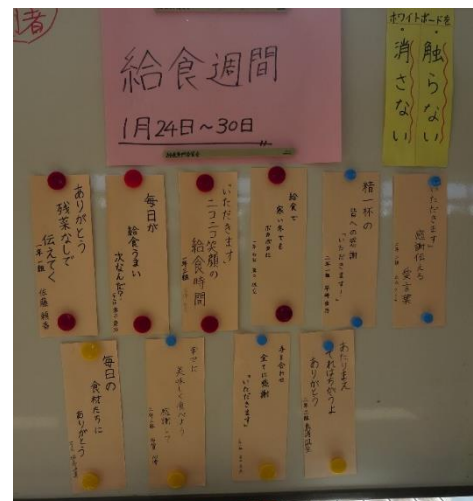
そして、ぼくたちの給食を作ってくださる給食センターの調理員さんたちに感謝しましょう。

給食標語 全校生徒が給食に関する標語を考えました。一部を紹介します。（正面玄関に掲示）

1年1組	佐藤さん	ありがとう 残菜なしで 伝えてく
2組	藤永さん	毎日が 給食うまい 次何だ？
3組	金澤さん	いただきます ニコニコ笑顔の 給食時間
4組	溝口さん	給食で 寒い冬でも ポカポカに

2年1組	早崎さん	精一杯の 皆への感謝 いただきます
2組	丸山さん	いただきます 感謝伝える 愛言葉
3組	島崎さん	あたりまえ それはちがうよ ありがとう

3年1組	富田さん	手をあわせ すべてに感謝 いただきます
2組	多賀さん	幸せに 美味しく食べよう 感謝して
3組	堀之内さん	毎日の 食材たちに ありがとう



給食時間の風景



黙食



2年生・3年生は分散給食を行っています。



生徒も先生も食べる時は笑顔になります。



給食週間の取組をととして、私たちは「いただきます。」「ごちそうさまでした。」という意味や礼儀・作法から、食べ物をいただく感謝の気持ち、給食の歴史、残菜や食品ロス等、地球環境や自然環境にいたるまで、さまざまな視点から多くのことを学び、考えました。

食生活について考え、改善することは、私たちが心身ともに健康な生活を送るうえで大切なことです。これからも、給食や食について学びを進めていきましょう。